

2007年上期未踏ソフトウェア創造事業「第三項音楽展開のためのソフトウェア群の開発」

開発代表者：池上 高志、 共同開発者：渋谷 慶一郎・大海 悠太・江原 寛人、 担当PM：美馬 義亮

●**第三項音楽**とは、反復と差異という二項対立からつくられる既存の作曲技法に対し、作曲者が非明示に取り入れている第三項を明示的に取り扱おうという試みであった。第三項の候補としてわれわれが考えたのが、瞬間の音の動きのヴァリエーションであり、新しい音の連なりである。

●このプロジェクトでわれわれは、カオスやセルオートマトンといった力学系が作り出す状態の時間発展パターンを音にする方法を構想し、それをシステムティックに制御するソフトウェアを開発した。カオスやセルオートマトンをもとにした音色生成は、時空間パターンをベースにしたものであり、どのような音がそれらのパターンから開発できるかが前もって予測のできない。今回は、この特徴を生かしつつ、

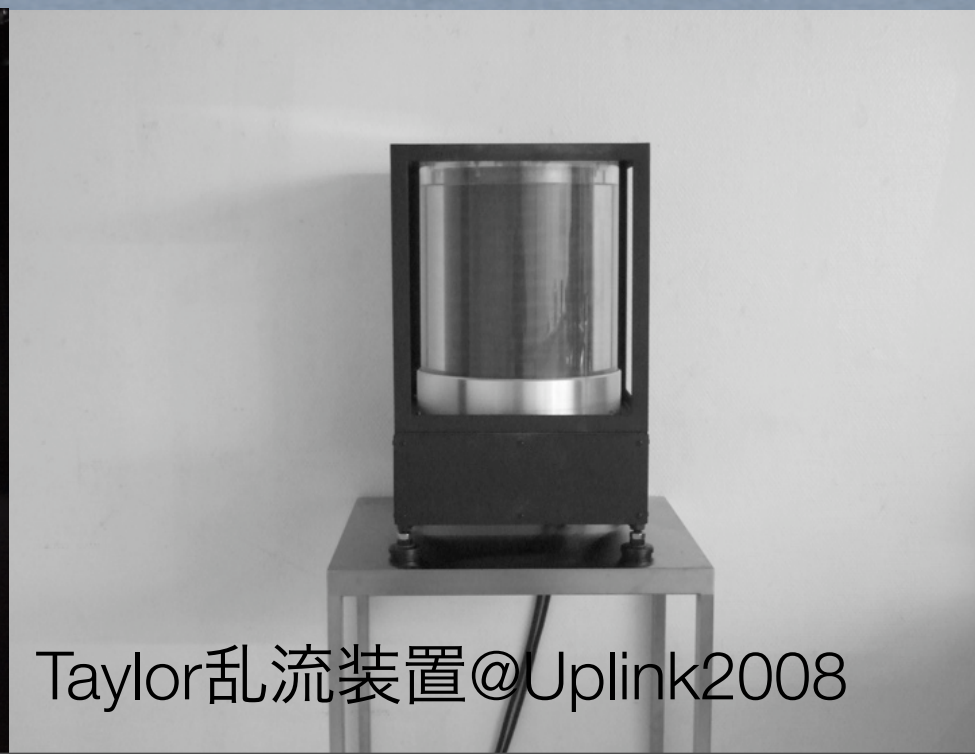
i) 音色の多様性のシステムティックな開発

ii) サウンドインスタレーション（特に立体音響など）で活躍する音色の開発

の2点に集中し、ミュージシャンの使用に耐える新しいソフトウェア群を開発。



Filmachine 全景@ycam2007



Taylor乱流装置@Uplink2008

